概要版イメージ

浪江町復興ビジョン提言案

資料 3-2 平成24年3月

1. 復興ビジョンにおける「復興」の考え方

【奪われたもの】

〇震災による甚大な被害

- ・184名の尊い命
- ・地震と津波によって植えつけられた心の傷
- ・流出604戸、全壊29戸、公共施設や道路等 など甚大な被害

○全てを奪った原発事故のつらさ

- ・「全町避難」という理不尽な現実
- 汚染され、荒廃したままのふるさと
- ・目に見えない放射線への不安
- ・当たり前のありふれた平和な日常の 喪失

取り戻すべきもの、復興すべきものは何なのか? ふるさとの再生も大事だが、それよりも大事なのは 「一人ひとりの命と暮らしを守る」こと

【復旧・復興すべきもの】

〇一人ひとりの暮らしの再建

かつて浪江で送っていた平穏な日常を「今」 居る場所、あるいは新しい場所、または元の 場所で」一日も早く取り戻すことが必要。



例えば、今後の暮らしの場については…

町外でも構わない ので、早く集まっ て暮らしたい。

自分の好きな土 地で生活を再建 したい。

極力早く、自宅でな くとも町に戻って 生活したい。

それぞれの町民が安心して、自らの今後を選ぶことが できる環境・制度・前提を作っていくことが必要。

【安心して選択するために必要な事項】~どこに住まおうと~

- ・区域見直しや帰町の判断で不平等が生じない賠償の確保
- ・安心して避難が継続できる制度の確保
- ・放射能に対する健康の確保
- ・雇用の確保(事業継続、就業支援)・学習支援の充実
- ・安心して暮らせる住まいの確保
 - ・町民が再会できる機会の創出

など

【町外での集住希望】

・町外でも、より多くの 町民が安心して集まっ て暮らすことができる 住まい、コミュニティ、 働く場、学校等生活環 境の確保 など

【県外での生活希望】

- ・長期的な支援の継続
- ・二重の住民登録など他地 域で不便なく暮らせる制 度の構築
- ・浪江との絆づくり

など

【早期帰町希望】

- ・徹底した除染
- ・インフラ復旧、住宅補修
- ・低線量地区を中心としたまちづく り、住宅確保
- ・医療、福祉、教育等の、生活環境 の再生、雇用の場の確保 など

2. 子どもたちの想い~アンケートから見えるもの~

【子どもたちの痛切な願い】

・浪江にいた時には考えもつかなかったことで大人以上に悩み、苦しんでいるたく さんの子どもたち

【奪われたふるさとへの想い】

- ・子どもたちの心の中にあるたくさんの 狼江での思い出
- すばらしいふるさとへの想い



子どもたちの想いに我々大人はどう応えていくか?

【子どもたちの願いに応えるために】

- ・子どもたちの"今"を大事に
- ・かつての平穏な日常を取り戻す

【子どもたちの想いに応えるために】

- いつまでも故郷と思ってくれるような、 なみえの再生
- ・将来、帰りたいと思ったときに帰れることができる安全・安心な故郷



【大人世代としての責務】

- ・子どもたちの"今"を大切に、理不尽な苦しみを無くすこと。
- ・子どもたちが今後どこに住もうとも心の拠り所となり、将来、子どもや孫に「ここが自分の生まれた場所だよ」と胸を張って言える安全で安心、そして文化が続くふるさとの再生。

3. 復興の基本理念と基本方針

みんなでともに乗り越えよう、私たちの暮らしの再生に向けて ~未来につなぐ復興への想い~

みんなでともに乗り越え る

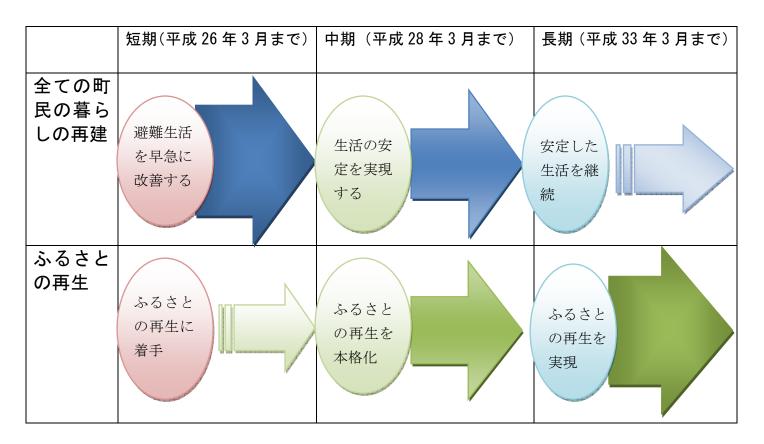
- 一人ひとりの暮らしの再生
- 子どもたちの未来につなぐ

- ・町単独でなく、我が国全体で災害に向き合う
- ・町民・事業者・行政が一 体となって復興にあたる
- ・復興=一人ひとりの暮ら しの再建
- ・人それぞれ多様な考え方 や想いに応じた復興のあ り方
- ・子どもたちの痛切な願いを受け止め、"今"を大事に
- ・子どもたちの心のふるさとを、この世から無くさない

復興の基本方針

- ○すべての町民の暮らしを再建する~どこに住んでも浪江町民~
- ○ふるさと なみえを再生する~受け継いだ責任、引き継ぐ責任~
- ○被災経験を次代や日本に生かす~脱原発、災害対策~

各時期における復興への取組み



【すべての町民の暮らしの再建に向けて】

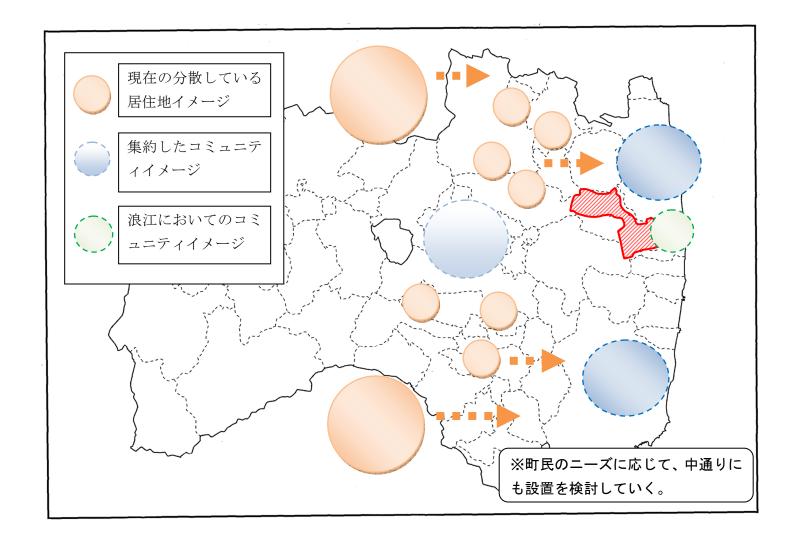
- ①短期においては、避難生活環境の改善、町外でも安心して暮らせる環境づくり、新たな居住 の場の確保により、避難生活を早急に改善していきます。
- ②中期においては、町外において安心できる生活環境の構築、事業再開、就労の実現等により、全ての町民の生活の安定を目指していきます。
- ③全ての町民が、安定した生活の中で、浪江町民としてのアイデンティティーを持ちながら、 それぞれの人生を自由に歩んでいけるよう、様々な選択による不利益が生じないよう取り組ん でいきます。

【ふるさとの再生に向けて】

- ①短期においては、低線量地域の除染やインフラ復旧を先行し、ふるさと再生の足掛かりとしていくとともに、長期的な視点に立ってまちづくりの準備・検討を行っていきます。
- ②中期においては、本格除染、インフラ復旧の拡大により、生活可能なエリアを拡大させていくとともに、医療、福祉、教育、産業等の生活に必要な環境の整備の拡充を図っていきます。
- ③長期においては、安全・安心であることを大前提として、その上で若者が集まる魅力的な町となるような町づくりを推進していきます。

今後の復興イメージ

- ①分散している避難状況を改善するために、集約したコミュニティで誰もが安心して暮らせるようにしていきます。
- ②その上で、ふるさとなみえの再生も進め、浪江町に帰還できるような環境を整えていきます。



- ・集約したコミュニティの場所については<u>あくまで仮のイメージです。</u>今後、町民の意向を反映 させ選定していきます。
- のそれぞれの場所での暮らしが選択できるよう取り組んでいきます。